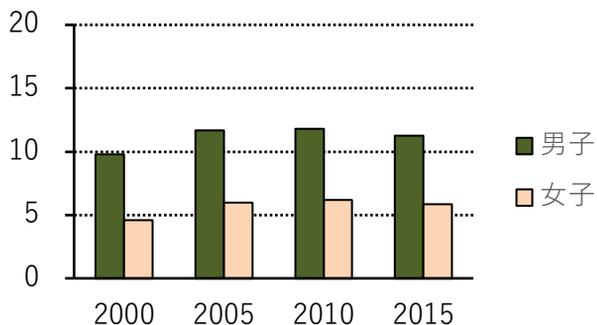


学生の健康白書2021

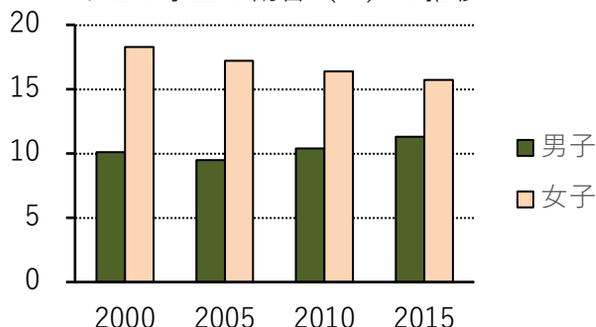
全国の国立大学法人の保健管理センターが共同して、5年毎に定期健康診断のデータを集計して、学生の健康白書を作っています。大学生と大学院生の健康状態を把握して、よりよい健康管理のための基礎的な資料を提供することが目的です。過去の健康白書はインターネット上に公開されています。

(<http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/hokenkanri/hakusho/>)

肥満学生の割合 (%) の推移

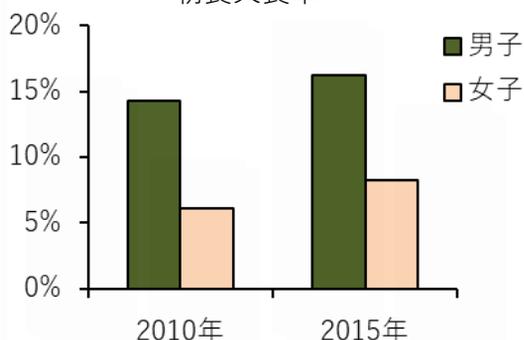


やせの学生の割合 (%) の推移

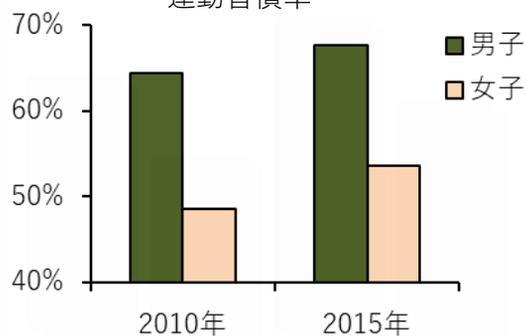


男子はやせが増加、女子はやせが減少している。

朝食欠食率

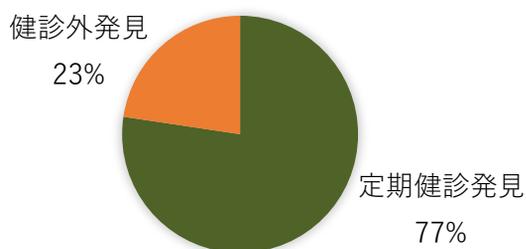


運動習慣率



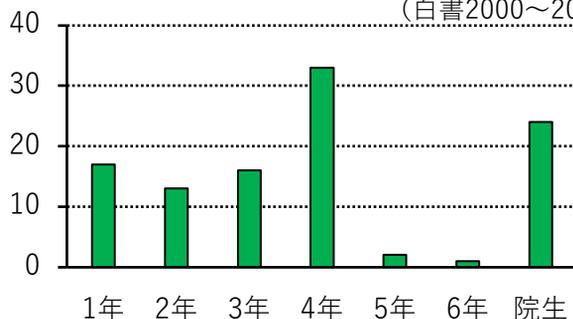
朝食を食べない学生が増えているが、運動する習慣のある学生は増えている。

結核発見の機会



結核と診断された学生数

(白書2000~2015)



結核の多くは定期健康診断で発見される。

結核は高学年でも発見される。

健康白書の作成には、氏名など個人を特定できる部分を削除したデータが用いられます。文部科学省および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいており、名古屋大学医学部生命倫理審査委員会の承認を受けています。もし、あなたの情報が集計に用いられることについてご了承いただけない場合は除外しますので、お申出ください。不利益が生じることはありません。但し、研究事務局（名古屋大学）でデータが集計されて以降は除外することはできません。